

# 袋井市男女共同参画に関する市民意識調査

## 調査ご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

袋井市では、男女共同参画社会（誰もが性別にとらわれることなく、それぞれの個性と能力を活かしながら、あらゆる分野で活躍できる社会）に向けての取り組みを平成27年度に策定した「第3次袋井市男女共同参画推進プラン」に基づき、進めています。

今回の調査は、このプランの見直しや今後取り組みを進めていくにあたり、市民の皆さまのお考えをお聞かせいただくため、袋井市にお住まいの18歳以上の男女あわせて3,000人の方を無作為に選び、実施するものです。

お答えは、すべて無記名で統計的に処理し、調査の目的以外の使用はいたしませんので、ご回答いただきました方にご迷惑をおかけすることは決してありません。

お忙しいところ大変恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年5月

袋井市長 原田 英之

## 調査票のご記入にあたってのお願い

- お答えは、あて名ご本人のお考えでご記入ください。
- ご自分の考えや、それに近いもののあてはまる番号を○で囲んでください。
- その他を選んだときは（ ）内に具体的内容をご記入ください。
- ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は必要ありません）にて、6月12日（金）までにポストにご投函ください。  
（ご住所、お名前を記入する必要はありません。）

◇この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

### 袋井市総務部協働まちづくり課コミュニティ推進室

〒437-8666 袋井市新屋一丁目1番地の1

電話：44-3107 FAX：43-2132

E-mail：shimin-kyodo@city.fukuroi.shizuoka.jp

# 「男女共同参画社会」ってなに？

男女共同参画社会とは、

「誰もが性別にとらわれることなく、それぞれの個性と能力を活かしながら、あらゆる分野で活躍できる社会」 のことです。

## 職場

重要な役割は男性、補助的な役割は女性などと決めつけるのではなく、その人個人の能力が発揮できる職場を目指しましょう。



## 地域

地域は男女が共につくるものです。地域の活動等に積極的に参画し、よりよいまちをつくりましょう。



男女が共に  
自立し参画する  
社会づくり

## 家庭

家事、育児、介護など性別にかかわらずなく、家族みんなで分かち合い、支え合い、助け合いましょう。



## 学校

男の子だから、女の子だからと決めつけず、自分らしさを大切にしながら、個性を尊重しましょう。



※「参画(さんかく)」という言葉は、単に参加するということだけでなく、方針の立案や意思決定への参加ということを意味します。

男女共同参画社会の実現に向け、施策を進めてきましたが、「男は仕事、女は家庭」といった言葉に代表される固定的な性別役割分担意識は、一人ひとりの意識や制度、慣行に根強く残り、男女共同参画が進まない要因の一つとなっています。

市民の皆さまのご意見をお伺いし、今後の施策の展開に役立てていきたいと考えております。あなたの生活をもう一度振り返って、率直な考えをお聴かせください。

■ あなたご自身のことについておたずねします。

※すべてについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

問1 あなたの性別は。

1. 男性                      2. 女性                      3. その他

問2 あなたの年齢は。

1. 10歳代                  2. 20歳代                  3. 30歳代                  4. 40歳代  
5. 50歳代                  6. 60歳代                  7. 70歳代                  8. 80歳以上

問3 あなたの主な職業は。

1. 勤め人（フルタイム）                      2. 勤め人（パートタイム等）  
3. 自営業（農林漁業、商工業等）              4. 専業主夫・主婦  
5. 学生    6. 無職  
7. その他（    ）

問4 あなたは現在結婚されていますか。

1. 結婚している（事実婚を含む）              2. 結婚していない  
3. 結婚していたが、離婚・死別した

問5 あなたの家族の構成は次のどれですか。

1. 単身世帯（ひとり暮らし）                      2. 1世代世帯（夫婦のみ）  
3. 2世代世帯（親と子など）                      4. 3世代世帯（親と子と孫など）  
5. その他（    ）

問6 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。

1. 同居している子どもがいる                      2. 子どもはいるが同居していない  
3. 子どもはいない



問10 あなたは、次の分野で、男女が平等であると思いますか。各項目について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。（それぞれ1つに○）

	男性が非常に優遇	どちらかといえば男性が優遇	平等	どちらかといえば女性が優遇	女性が非常に優遇	わからない
①家庭生活で	1	2	3	4	5	6
②就職活動の場や職場で	1	2	3	4	5	6
③学校や教育の場で	1	2	3	4	5	6
④地域活動の場で （自治会・PTA等）	1	2	3	4	5	6
⑤政治の場で	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
⑦社会通念・慣習・しきたり などで	1	2	3	4	5	6

＜問4で、「結婚している（事実婚を含む）」とお答えの方に伺います。＞

問11 あなたのご家庭では、次のような役割を主にどなたが担っていますか。  
（それぞれ1つに○）

	主に夫	主に夫だが、妻も分担	夫と妻が同程度	主に妻だが、夫も分担	主に妻	わからない	子どもや親がいない
①家計を支える （生活費を稼ぐ）	1	2	3	4	5	6	
②掃除・洗濯・食事の支度などの家事をする	1	2	3	4	5	6	
③ごみ出しなどの簡単な家事をする	1	2	3	4	5	6	
④日々の家計の管理をする	1	2	3	4	5	6	
⑤育児・子どものしつけをする	1	2	3	4	5	6	7
⑥親の世話（介護）をする	1	2	3	4	5	6	7
⑦自治会などの地域活動を行う	1	2	3	4	5	6	
⑧子どもの教育方針や進学目標を決める	1	2	3	4	5	6	7
⑨高額な商品や土地・家屋の購入を決める	1	2	3	4	5	6	

■ 男性が家事・育児・介護へ参加することについておたずねします。

問12 男性が「育児や介護」などの休暇・休業を取得することについて、あなたはどのようにお考えですか。（それぞれ1つに○）

	とった方がよい	どちらかといえばとった方がよい	どちらかといえばとらない方がよい	とらない方がよい
①育児休暇（育児のために取得する休暇）	1	2	3	4
②育児休業（育児のために一定期間休業できる制度）	1	2	3	4
③子の看護休暇（病気等の子どもの看護のための年5日程度の休暇）	1	2	3	4
④介護休暇（短期の介護のための年5日程度の休暇）	1	2	3	4
⑤介護休業（介護のために一定期間休業できる制度）	1	2	3	4

問13 あなたは、男性の育児休業の取得が進まない理由は何だと思えますか。  
（あてはまるものすべてに○）

1. 職場の理解が得られないから
2. 職場に育児休業の制度がない・知らないから
3. 育児休業中の家計が不安だから
4. 育児休業中の仕事を引き継げる人がいないから
5. 取得することで出世にひびきそうだから
6. 復職後の役職や給与が下がりそうだから
7. 配偶者が取得するため必要ないから
8. 男性は仕事、女性は家事・育児をすべきという風潮（取りにくい雰囲気）があるから
9. 男性の子育てに関する知識不足（育児に自信がないから）
10. 男性の育児休業に対して家族の理解が得られないから
11. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ ）
12. わからない

■ 地域活動についておたずねします。

問14 あなたが現在参加している地域活動をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 福祉ボランティア活動        | 2. 自治会の活動                |
| 3. 子ども会・PTA・青少年の育成活動 | 4. 高齢者団体の活動              |
| 5. 各種女性団体の活動         | 6. 消費者団体等の消費者活動          |
| 7. 趣味・スポーツ等のサークル活動   | 8. 環境・美化・自然保護活動          |
| 9. 防災・消防に関する活動       | 10. 地域おこし・まちづくり・観光に関する活動 |
| 11. その他（             | ） 12. 活動していない            |

問15 あなたは、女性が自治会長などの役職につくことが少ない理由は何だと思いませんか。（あてはまるものすべてに○）

1. 社会的・文化的に、性別によって役割を固定する考え方や意識が残っているから
2. 家族の理解や協力が得られにくいから
3. 自治会長などの役職は、世帯主が受けているから（世帯主は男性であることが多いから）
4. 女性自身が、長などの役職につくのに消極的だから
5. 女性は身体的能力が男性より劣っているから
6. 活動時間帯が女性に合っていないから
7. 女性は、指導的な業務より補助的な業務の方が得意だと思うから
8. 世間的に快く思われないから
9. その他（
10. わからない

問16 東日本大震災や熊本地震などの教訓から、防災に対して男女共同参画の視点が必要だと指摘されています。災害に強い地域をつくるためには、どのようなことが必要だと思いませんか。（あてはまるものすべてに○）

1. 自主防災組織の役員・リーダーを男女両方が担う
2. 自主防災組織の業務の分担を決める時、男女の役割を固定的に考えないようにする
3. 災害時に、性別や年齢、妊産婦、障がいの有無など、必要に応じた配慮ができるようあらかじめマニュアルなどで体制や対応を決めておく
4. 日頃の近所つきあいで顔を知っておき、いざという時に助け合える関係をつくっておく
5. 女性や乳幼児などが必要とする物資を、災害に備えて地域でも備蓄しておく
6. 男女が共に参画する防災訓練を実施する
7. その他（
8. わからない











■ 政策・方針決定過程への女性の参画についておたずねします。

問22 あなたは、政策・方針決定の場に女性が参画することについて、どのように考えますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 男性を上回るほど増える方がよい
2. 男女半々になるくらいまで増える方がよい
3. 男女半々まではいなくても、今より増える方がよい
4. 今のままでよい
5. その他（ ）
6. わからない

問23 袋井市における議員や審議会委員など、政策・方針決定の場における女性の数は男性より少ないですが、その理由は何だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

袋井市の状況(H31)

- 市議会議員の女性の数 19人中 2人(10.5%)
- 審議会等委員の女性の数 891人中323人(36.3%)

1. 男性優位の組織運営だから
2. 家庭・職場・地域・学校における性別による役割分担意識や性差別の意識があるから
3. 女性の側の積極性が十分ではないから
4. 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないから
5. 女性の能力開発の機会が不十分だから
6. 女性が参画するための家族の支援・協力が得られないから
7. その他（ ）
8. わからない

問24 女性の社会参画を進めるためには、女性が活躍するためのチャレンジ支援が重要です。このために、あなたは、行政としてどのような取組が必要だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

<女性の社会参画の例>

- ・政策や方針を決定する分野への参画
- ・企業家、技術者等、従来女性が少なかった分野への参画
- ・子育てや介護等で一旦仕事を中断した女性の仕事復帰 など

1. カウンセラー等による相談の充実
2. 起業や就職、社会貢献等の情報の提供
3. パソコン教室等の各種学習機会の提供
4. 企業等への女性参画についての意識啓発
5. 講演会や交流会等の情報交換する場の提供
6. 参考となる事例の紹介
7. その他（ ）





問28 あなたと、あなたの配偶者・パートナーの現在の勤務形態はどれにあてはまりますか。  
 また、あなたの希望の勤務形態はどれにあてはまりますか。  
 ※配偶者・パートナーがいない方は、ご自身の欄だけ記入してください。  
 (それぞれ1つに○)

	現在の勤務形態		希望の勤務形態 (あなた)
	あなた	配偶者・ パートナー	
①常時雇用の正社員または正職員	1	1	1
②臨時雇、パート・アルバイト、非常勤、派遣等の非正規社員 (職員)	2	2	2
③自営業主または家族従業者	3	3	3
④専業主夫・主婦	4	4	4
⑤学生	5	5	5
⑥無職(専業主夫・主婦を除く)	6	6	6
⑦その他( )	7	7	7

<問28で、「収入のある職業についている方」に伺います。>

問28-2 あなたが働いている主な理由は何ですか。(○は2つまで)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 生活費を得るため     | 2. 住宅ローンや借金を返済するため |
| 3. 将来に備えて貯蓄するため | 4. ゆとりある生活をするため    |
| 5. 生きがいを得るため    | 6. 自立するため          |
| 7. 能力や技術を生かすため  | 8. 家業のため           |
| 9. 社会に貢献するため    | 10. その他( )         |

問29 あなたは、女性が仕事を続けていく上で、特に障害になっていることは、何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 結婚・出産退職等の慣行    | 2. 賃金の男女格差               |
| 3. 昇進・昇格における男女の格差 | 4. 仕事内容における男女の格差         |
| 5. 長時間労働や残業       | 6. 雇用形態にパートタイムや臨時雇が多いこと  |
| 7. 育児休暇が取得しにくいこと  | 8. 保育施設(保育園など)の不足        |
| 9. 介護休暇が取得しにくいこと  | 10. 介護施設(特別養護老人ホームなど)の不足 |
| 11. 職場における人間関係    | 12. 家族に反対されたり、協力が得られないこと |
| 13. 女性自身の知識や技術の不足 | 14. 女性自身の就業意欲が低いこと       |
| 15. その他( )        | 16. 特にない                 |
|                   | 17. わからない                |





